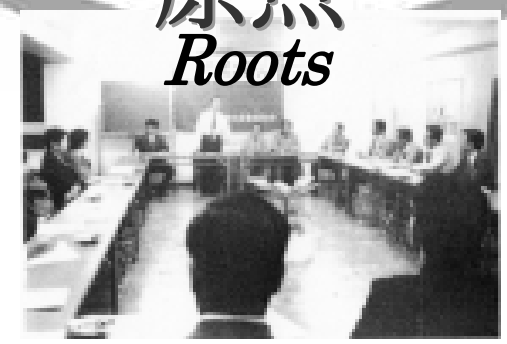
2012年7月9日―――愛知中小企業家同友会　創立50周年

# 歴史・知恵・夢を
# つなぎ、未来へ

50 年の足跡を踏みしめ
輝ける次代を切り拓こう

**愛知中小企業家同友会 50 周年記念事業**



愛知中小企業家同友会

５０周年記念事業実行委員会

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

## 実行委員長あいさつ

愛知中小企業家同友会は、2012年に創立50周年を迎えます。1962(昭和37)年7月9日、「名古屋中小企業家同友会」として、情熱溢れる熱き34名の中小企業家によって発足し、50年の年月が経過しました。以来、さまざまな運動を展開し、愛知中小企業家同友会が提唱した金融アセスメント法制定にかかわる運動では、全国の同友会を巻き込んで、100万筆を超える署名を集めました。この署名運動がきっかけとなり、2010年6月18日には「中小企業憲章」が閣議決定されました。また、会勢も3000名を超え、われわれの日々の活動などが、各報道機関から大きな注目を集めるまでになりました。

この度50周年を迎えるにあたり、熱き想いを持って創立していただいた当時を振り返り、現在取り組まれているさまざまな活動が、どのような経過をたどってきたのかを検証して参ります。また、今後60周年、100周年を迎えるための未来を見据えた「2020ビジョン」も発表します。

2012年度は、1年間を通じて50周年記念事業を展開いたします。50周年の歴史に学び、そして、われわれ中小企業家にとって、明るい未来へとつなげる活動を行います。会員の皆様方の積極的なご参加をお願い申し上げます。

50周年事業実行委員長　　**上根　崇**

## 事業の目的

1. これまで関わって頂いた方々に感謝すると共に、愛知中小企家同友会 50 年の歴史を振り返り、原点を見つめ直す。
2. 激変する時代の変化に対応し、同友会らしい発想と行動力で、新しい知恵や知識を取り入れ、新しい時代への踏み出す第一歩とする。
3. 会員それぞれが、経営者として必要な能力を今以上に磨き、企業や愛知中小企業家同友会が未来永劫続き、発展する様、更なる飛躍を誓う場とする。

## 主な企画・日程（２０１２年度）

| | | |
|---|---|---|
| ＜地域＞ | 憲章制定２周年の集い　６月１８日 | 条例制定大学習会　８月開催 |
| ＜創造＞ | ５０周年記念式典 | ７月９日（創立記念日） |
| ＜歴史＞ | ５０周年記念誌発行 | ７月９日（式典にて） |
| ＜未来＞ | ２０２０ビジョン発表 | ７月９日（式典にて） |
| ＜原点＞ | 「５０周年記念」支部例会 | 年度内に各支部で開催 |
| ＜世界＞ | 海外視察 | ９月２日～９日 |
| ＜人間＞ | 「人を生かす経営」全国交流会 | １１月１５日～１６日 |
| ＜仲間＞ | ３５００名・会員増強推進 | 通年 |

**２０１２年度を通じて、全部門・全組織・全会員が主体者として連帯し、愛知一丸となって、５０周年の目的実現、獲得目標達成にむけて取り組み、２０１２年７月９日創立５０周年記念日を、３５００名会勢で迎えましょう**

# 地域をつくり、地域と共に歩む中小企業運動―――

# ◇　中小企業憲章制定２周年、条例推進　◇

私たちの住む愛知をより豊かで住みやすく、魅力ある県にするためには、地域に根差した、中小企業の役割が重要です。地域の活性化を担うのは私たちです。

2012 年 6 月 18 日、中小企業憲章制定（閣議決定）2 周年を迎えます。憲章の理念を身近な地域に落とし込み、地域独自の「中小企業地域活性化条例」を私たち自身の手で制定し、活力ある地域をつくりましょう。

条例制定に向けた活動は、決して難しい運動ではありません。自社を見つめ直し、磨き上げる、そして、同友会の輪を広げ、自分たちの地域をどうしていきたいかを一緒に考える仲間をつくることが運動です。より良い愛知を目指して、中小企業地域活性化条例づくりを進めていきましょう。

**１）2012 年 6 月 18 日　「中小企業憲章制定」２周年の集いを開催します。**

**◆日時　６月１８日（月）　１４：００～１７：００**
**◆講師　加藤洋一氏／中小企業庁事業環境部長（前 中部経済産業局長）**

**２）2012 年 8 月　県下全市町村での条例制定に向けた、大学習会を開催します。**

**「愛知県中小企業地域活性化条例」（同友会案）を県下の自治体に広げていきます。特に、2011 年 6 月に発表された愛知県の「あいち産業労働ビジョン」の施策の柱の第１に「中小企業力の強化」が掲げられ、具体的施策のトップに「中小企業を支援する基本条例」（愛知県中小企業地域活性化条例（仮称））の制定があげられています。愛知同友会として、その制定に協力していきます。**

**☆ 担当組織：経営環境改善部門　　部門長：和田勝**

# 創造の運動史、過去から未来へのバトン――

# ◇　50 周年記念式典　◇

愛知中小企業家同友会は、1962 年に 34 名で「名古屋中小企業家同友会」として創立以来、会員中小企業家が知恵と情熱を結集しながら、激動し続ける経営環境に適応して幾多の困難を乗り越える「道なき道」を先駆的に切り開く運動を展開し、会員企業や地域と共に発展してきました。

まさに「創造」の運動史と呼ぶべき愛知同友会の 50 年間を様々な形で振り返り、中小企業が日本経済再生・発展の源泉となる「中小“輝”業時代」に向けての新たな運動創造・時代創造の契機とすべく、創立 50 周年の日に式典を開催します。

**☆ 開催日時：2012 年 7 月 9 日（創立記念日）　14 時～20 時**

**☆ 会場：ウェスティンナゴヤキャッスル　青雲の間（式典）・天守の間（パーティ）**
**名古屋市西区樋の口町３－１９　TEL:052-521-2121**

**☆ 内容：**

**１）　創立会員表彰・・・「創始者への感謝」**
**２）　記念映像上映・・・「映像で振り返る運動史」**
**３）　記念講演・・・「愛知同友会 50 年の歴史から学ぶもの」**
**◆講師：渡辺俊三氏／名城大学経済学部教授・経済学部長**
**（愛知同友会 50 周年記念誌・本文を執筆）**

**４）　パネルディスカッション・・・「過去から現在、そして未来へ」**
**◆パネリスト：遠山昌夫氏／菊水化学工業㈱・最高顧問（1962、73～78 年度代表理事）**
**鋤柄　修氏／㈱エステム・代表取締役会長（1995～2004 年度代表理事）**
**加藤明彦氏／エイベックス㈱代表取締役会長（2011 年度～現代表理事）**

**５）　愛知同友会２０２０ビジョン発表・・・「中小“輝”業時代実現の未来像」**
**６）　パーティ（着座）・・・「慶祝、感謝、決意」**

**☆ 担当組織：記念式典プロジェクト　　プロジェクト長：吉田令**

*Creation*

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

# 歴史を紐解き、新たな運動に生かす――

# ◇　50 周年記念誌　◇

全国同友会の中でも先駆的な活動を積み重ねてきた愛知同友会。その 50 年の歩みは、「日本経済の真の担い手は中小企業である」との自負と誇りを胸に、自助努力の旗を高々と掲げ、経営環境改善に果敢に取り組み、生き抜いてきた中小企業家の足跡です。

その集大成として「愛知同友会の歩み」イコール「中小企業家の自主的運動の歴史」として、会員が自信と誇りを持てる内容とすると同時に、今後の企業経営のヒントとなるものとしていきます。

**☆ 発行：2012 年 7 月 9 日（月初の発送に同封）**

**☆ 基本コンセプト：**

**1）外部環境の変化と重ねあわせて 50 年の歴史を概観し、発展の教訓に学ぶ。**

**2）「3 つの目的」実現において果たした愛知同友会の先駆性を描き、今後の再出発点とする。**

**3）一般会員にも読みやすく、同友会を学ぶテキストとしても利用できるものとする。**

**☆ 内容：**

**1）「発刊にあたって」**

**2）愛知同友会の運動通史**

**3）思い出の記「時代を創る企業家たち」（同友 Aichi 連載より）抜粋・要約**

**4）付録資料**

**①年表（時代の関わりも）**

**②資料（同友会理念、労使見解、中小企業憲章草案など）**

**☆ 担当組織：記念誌編集会議　　編集長：宇佐見孝　編集委員：加藤昌之、村上秀樹**

*History*

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

# 未来の輝きは我々の手で――

# ◇　2020 ビジョン　◇

辞書によると「経営理念で示された経営姿勢や存在意義に基づき、ある時点までに『こうなっていたい』と考える到達点、つまり自社が目指す中期的なイメージを投資家や従業員や社会全体に示したもの」とあります。愛知中小企業家同友会の２０２０年ビジョンも、同じです。同友会理念で示された３つの目的を追及し続けるために、ある時点「２０２０年」に、こうなっていたい！と考え、中期的なイメージを作り上げるのです。

２１世紀に入り、中小企業を取り巻く環境は一段と厳しくなっています。

まさに混迷極まる今こそ未来を見据え、目指す企業像・地域像・運動を改めて推し量り、会員企業が誇りを持って、迷わずまい進できる御旗を掲げたいと思います。

**☆ ビジョンテーマ（総論）：世界を見据え地域に生きる**
**～地域、経済、社会を担う中小輝業となる～**

**①日本経済の構造転換を捉えた経営を展開します**
**②「労使見解」を軸にした経営を継続、実践します**
**③「中小企業憲章」を軸に置いた、**
**“地域づくりを本気で実践する経営”に取組みます**

**☆ 発表予定日：2012 年 7 月 9 日（創立記念日、式典にて）**

**☆ 担当組織：2020 ビジョンプロジェクト　　プロジェクト長：大山拳臥**

*Future*

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

# 原点の活動で原点を学ぶ――

# ◇　「50 周年記念」支部例会　◇

愛知同友会（名古屋同友会）の活動の初期の特徴は、経営者にとって同友会に最も身近に接する「地区」を活動の中心に置き、地区例会を定例化して行っていたことです。つまり地区例会は同友会活動の原点であり、地区活動による経験や教訓の蓄積が、数多くの運動を生み出してきました。

2012 年度は、各支部で創立 50 周年を記念しての例会を開催し、50 周年記念誌や 2020 ビジョンなどを題材に、愛知同友会の原点・歴史や、これからの展望を学び合います。

**☆ 開催時期：2012 年度中**

**内容：同友会運動の歴史、2020 ビジョンなど会運動の蓄積から学び、**
**各社の経営指針の見直し、支部、地区活動の再構築を図る機会とします**

**テーマ例**

**◎今後の企業・地域と同友会を展望する（ビジョンを深める）**

- **世界・日本のマーケットはどのように変化するか**
- **日本経済の構造転換を捉えた経営の展開・変革**
- **持続可能な地域とは何か、どのようにつくってゆくか**
- **中小企業憲章を軸に置いた「地域づくりを本気で実践する経営」とは**

**◎同友会運動の歴史を深め、確信へとつなげる**

- **同友会の誕生した歴史的背景と中小企業家運動**
- **同友会理念はどのようにして形成されたか**
- **「労使見解」を生みだした人間尊重の精神と時代背景**
- **同友会運動の他団体連携の歴史と、現在の外部からの評価**

**☆ 担当組織：組織部門　　部門長：佐藤祐一**

**☆ 開催主体：各支部**

# 世界を見据え、新時代の戦略を考える――

## ◇　海外視察　◇

愛知県中小企業研究財団では愛知中小企業家同友会と連携し、２００２年にＥＵ視察を行い、中小企業憲章制定運動の必要性を発信しました。その後、日本での憲章運動推進において、アジア圏での中小企業の連帯について研究の必要性を見出し、「中小企業憲章の国際展開」の研究に着手しております。

貿易取引、進出、或いは国の内外での価格競争など、今や日本の中小企業は、好むと好まざるに関わらず、東アジア諸国と深く関係づけられており、アジア展開のグローバリゼーションはもはや日常となっています。一方で世界規模での景気後退を受け、保護主義が進み、国内の中小企業の淘汰が進みかねないという懸念もあります。

このような情勢でどのような舵を切っていくのか。中長期の戦略を立案する一助として今回、東アジア圏の視察を行います。

☆ **視察期間：2012 年 9 月 2 日～9 日（7 泊 8 日）**
☆ **視察先：ベトナム、タイ**
☆ **視察内容：各国の中小企業、中小企業団体の見学、交流を予定**
☆ **担当組織：愛知県中小企業研究財団（外郭団体）**
☆ **監修：渡辺俊三氏／名城大学経済学部　教授**

*World*

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

# 人間尊重の経営で『同友会らしい』黒字企業に――

# ◇　「人を生かす経営」全国交流会　◇

同友会の創立以来、中小企業家最大の経営課題であり続けたのが労使問題でした。これに会員経営者が真剣に向かい合い、悩み、議論する中で到達したのが、1975 年に発表された「人を生かす経営～労使見解」です。

同友会はこの「労使見解」をベースとして、経営指針成文化と実践、指針・採用・共育の「三位一体経営」、「企業変革支援プログラム」などの、「人を生かす経営」を実践する運動、さらには金融アセス・中小企業憲章・条例といった外部経営環境改善の運動も、「人間尊重」の基本精神のもとで展開してきました。

すべての経営課題について「労使関係」「人の問題」を基礎に据え、「よい会社」や「よい経営環境」づくりに挑み実証してきたのが、同友会運動の歴史であり、これこそが今に引き継がれる「同友会らしさ」です。

愛知同友会 50 周年の 2012 年は、例年の「あいち経営フォーラム」を置き換えて、全国行事である「中同協・人を生かす経営全国交流会」を愛知で開催し、人間尊重の経営という「同友会らしさ」の本質を、全国からの参加者と共に深く追求します。

あらゆる経営課題を「人の問題」を基盤に、経営を見つめ直しましょう。

**☆ 開催日時：2012 年 11 月 15 日～16 日**
**☆ 会場：名古屋国際会議場**
**☆ 内容：運動づくり分科会－6 分科会、企業づくり分科会―7～10 分科会**
**☆ 担当組織：企業体質強化部門　　部門長：青木義彦**
**（中同協・人を生かす経営推進協議会）**
**「人を生かす経営」全国交流会実行委員会　　実行委員長：酒井達也**

*Humanity*

*the Aichi Association of Small Business Entrepreneurs 50th Anniversary*

# 仲間を増やし、共に育ち、共に地域の担い手に―――

# ◇　会員増強推進　◇

なぜ会員増強するのか―――

　同友会の目的・性格・会の活動内容は、経営に悩み、課題を見出し、その解決のために真剣な努力を続けているすべての経営者にとって必ず共感いただけるものです。同友会運動を常に新しい感覚・感性で発展させるためには新しい会員の息吹が必要です。

　また、同友会に入会し、気付きを得、学び、成長・発展することは、入会される経営者にとっても良いことです。こうした向上心を持ち、互いに切磋琢磨し、信頼関係を培った会員が増え、自主・民主・連帯の精神のもと、経済活動を通じて、国民と地域とともに歩み、この精神を社会に拡げていく。この社会形成が増強です。

この考え方に基づいて「日常増強」「戦略増強」双方の運動を推進し、
2012 年 7 月 9 日創立 50 周年記念日を３５００名の会勢で迎えます。

## １.「知り合い、学び合い、励まし合い」―――
## 「人材採用」の視点で、「純増」にこだわった「日常増強」

**会員増強推進本部・増強委員会が運動をリードし、各地区・支部とも同友会らしい活発な活動を行って「仲間を増やしつつ、減らさない」強い風土づくりをすすめ、会勢の純増を推進する。**

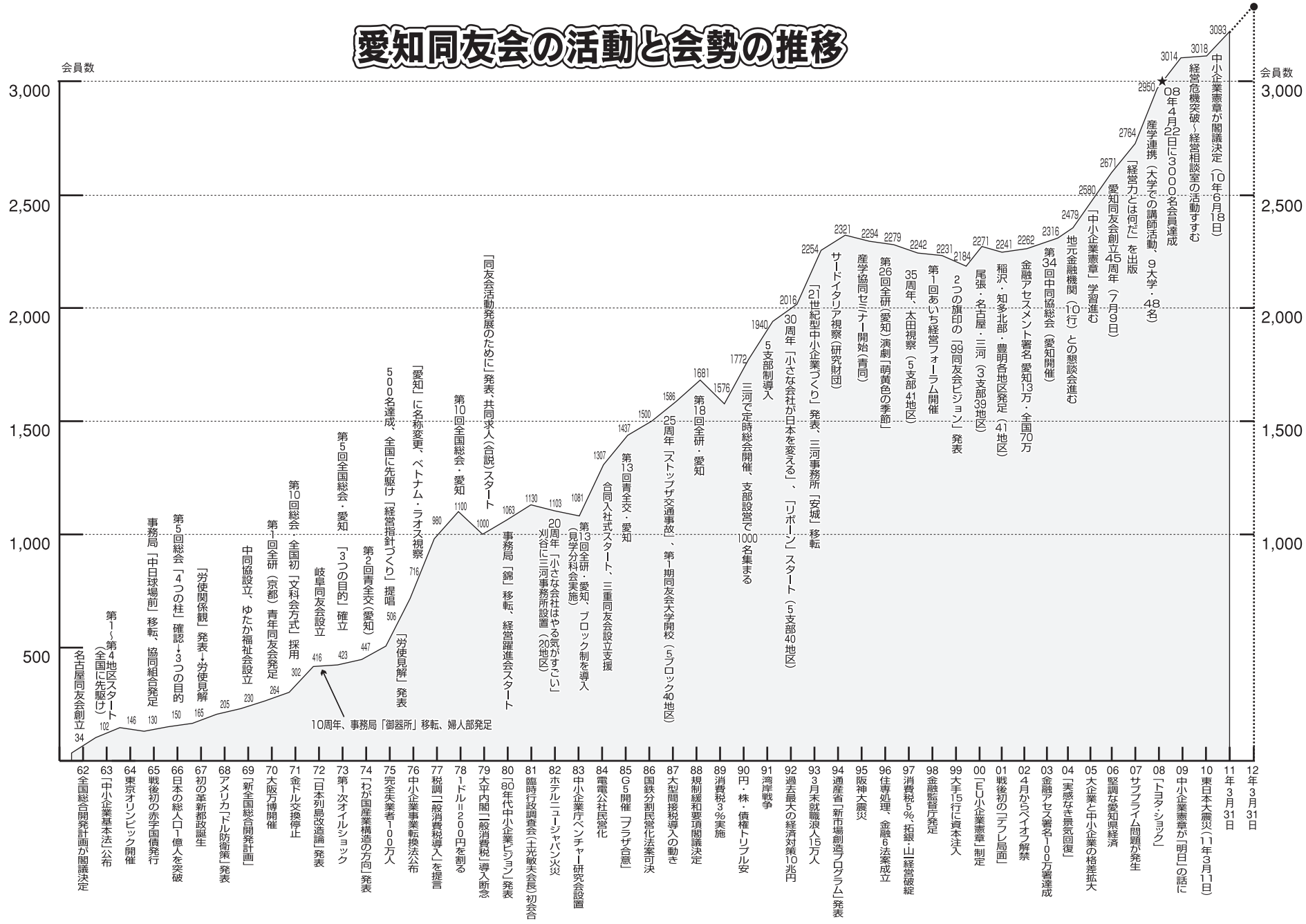
**☆担当組織：会員増強推進本部　　本部長：山田博比古、推進委員長：森健次**

## ２．地域、業界（観光・農業、漁業等）、団体を意識的に組織する「戦略増強」

**「農業部会」の発足を皮切りとして、県内第一次産業の増強を意識的に進め、六次産業化や農商工連携といった新たな地域産業基盤づくりの運動を推進する。**
**東三河地域の増強をすすめ、これまでの空白地区への同友会づくりを行う。**

**☆担当組織：理事会　　（代表理事・加藤明彦）**

# 愛知同友会の活動と会勢の推移



愛知中小企業家同友会

〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目５－１８
京枝屋ビル４Ｆ
**TEL** 052-971-2671（代表）
**FAX** 052-971-5406
E-mail aichi@douyukai.or.jp
公式サイト「Ainet」
http://www.douyukai.or.jp/
経営者向けサイト「あいどる」
http://www.douyukai.net/